

事務事業名		後期高齢者関係事務費拠出事務					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	2 やさしくふれあいのある健康福祉づくり					担当組織	担当部	健康医療部	担当課	医療保険課
	政策	3 助け合い生きがいを実感できるまちづくり					担当係	国保係	担当課長名	落合 眞	
	施策	3 地域福祉の推進と生活保障の充実					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	2 国民健康保険制度の適正運営の推進					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	16586	国保(事業)	3	1	2	後期高齢者関係事務費拠出金					
	事業区分		市単独事業・国県補助事業		市単独事業		任意的事業・義務的事業		義務的事業		
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	平成20年度～ 年度		根拠法令 条例等	高齢者の医療の確保に関する法律					
	実施方法		一部委託		事業分類		その他内部事務事業				
	リーディングプロジェクト		該当なし		市長マニフェスト		該当なし				

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)											
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)					平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)						
75歳以上の後期高齢者及び65歳以上74歳以下で一定の障害があったり寝たきりとなっている高齢者を対象とした医療制度への事務費を拠出する事業で、栃木県後期高齢者医療広域連合へ納付します。					左記に同じです。						
活動指標					単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
4月1日現在 75歳以上の人口					人	15,863	15,975	16,079			
3月31日現在 後期高齢者医療被保険者数					人	16,276	16,359	16,400			
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)											
国民健康保険被保険者、後期高齢者医療制度					対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
国保被保険者(年度平均)					人	36,624	35,489	34,400			
目的											
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)											
加入者の増加する後期高齢者医療制度の負担の軽減を図り、どの世代にあってもしっかり目なく安心して医療を受けられるようにします。					成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
1人当たりの事務費負担額					円	4.3	3.8	5.3			
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)											
国民健康保険制度が適正に運営され、安心して医療を受けられる。					上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
国民健康保険税収納率(現年度課税分)					%	91.6	92.6	91.6			
1人当たりの医療費の伸び率					%	3.7	1.5	2.8			

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)		
	国庫支出金	千円							
	県支出金	千円							
	地方債	千円							
	その他	千円							
	一般会計	千円							
	その他	千円							
	一般財源	千円	158	136	181	0	0		
	事業費計(A)	千円	158	136	181	0	0		
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目
		負担金	158	負担金	136	負担金	181		
人件費	人	1	1	1					
のべ業務時間	時間	4	4	4					
人件費計(B)	千円	16	16	16	0	0			
トータルコスト(A)+(B)	千円	174	152	197	0	0			

事務事業名	後期高齢者関係事務費拠出事務	担当部	健康医療部	担当課	医療保険課	担当係	国保係
-------	----------------	-----	-------	-----	-------	-----	-----

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	平成20年4月に高齢者の医療の確保に関する法律が施行されたことにもない事業が開始しました。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	国民健康保険の被保険者が減少するとともに、後期高齢者医療制度の加入者の増加が見られます。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	財源構成が、患者負担分を除き、公費5割、現役世代からの支援4割、高齢者から1割となっていますが、支出の多い現役世代の負担感に対する不満の声があります。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	現状維持により対象外です。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	後期高齢者として独立させた医療制度の健全運営は、国民健康保険制度の適正運営にもつながっており、結びついています。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	高齢者の医療の確保に関する法律第118条第2項に「保険者は、後期高齢者支援金等を納付する義務を負う。」とあり、市が行わなければならないとあります。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	支援対象と意図は法令に基づいており、妥当です。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案	法令で定められた事務費の拠出を行う事業で、成果を問うものではありません。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	高齢者の医療の確保に関する法律第122条に「当該年度における支払基金の業務に関する事務の処理に要する費用の見込額を基礎として、各保険者に係る加入者の見込数に応じ、厚生労働省令で定めるところにより算定した額」と規定されており、裁量の余地がありません。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	今後、受益者負担を求める必要がある	理由・改善案	世代間の負担の公平を維持するため、人口構成に占める後期高齢者と現役世代の比率の変化に応じて、それぞれの負担割合を変えていく仕組みを導入し、現役世代の比率は減少し、後期高齢者の比率は増加していくことになります。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)			
	法定事務のため、国民健康保険制度を市が運営する限り、廃止できません。			

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																								
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">4</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	4	向上				維持		○	×	低下		×	×	
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
4	向上																								
	維持		○	×																					
	低下		×	×																					